

図書館サポーター Library Supporter

第11回学生応援フォーラム 2018/02/20

図書館サポーター 渡邊 春菜(修士1年)

【図書館サポーターとは？】

What is Library Supporter ?

東工大附属図書館では、学部1年生～修士2年までの学生が職員と共に活動しています。利用者に見えるカウンターでの対応だけでなく、書架の整理、本にバーコードラベルを貼る“図書の装備”や“古くなったラベルの張替え”などといった利用者には見えない仕事まで、幅広く行っています。図書館でピンクのストラップのネームカードを提げているのが図書館サポーターの目印です。どんな人が多いかというと、やはり本が好きな人が多いです！多彩な趣味を持っている人もいます。学部1年生の時から修士2年まで続けている人もいるくらい魅力的な環境で、日々大量の本に触れられる活動です。

【図書館サポーターの魅力】

日々たくさんの本に触れられるだけでなく、小さな活動の一つ一つが図書館を支えているということを実感できる仕事です。カウンター業務や見学案内では、経験を積むことで徐々に自分なりの仕事のやり方や工夫の仕方、コミュニケーション力を身に付けていけることも魅力の一つです。東工大生として、またサポーターとして図書館に関わることで毎日充実した学生生活を送ることができます。

【図書館サポーターの仕事】

図書館の裏側では、日々職員とサポーターが様々な仕事・活動を通して東工大図書館を支えています。数多い活動の中から、サポーターが取り組んでいることの一部を紹介します。

毎日の利用を支える利用支援グループの仕事

カウンター：本の貸出し・返却、コピー、学外利用者などの対応を行います。
返本：毎日大量に返される本を書架に戻していく仕事です。
消ゴムかけ：カウンター対応の際間を縫って本の書き込みを消しています。
ラベル貼り：古くなって見にくい背ラベル(請求記号が書いてあるシール)を貼りなおす仕事です。
書架整理：利用者の皆さんが快適に図書館を活用できるように、書架の整理や掃除をします。

図書館を陰で支える情報管理グループの仕事

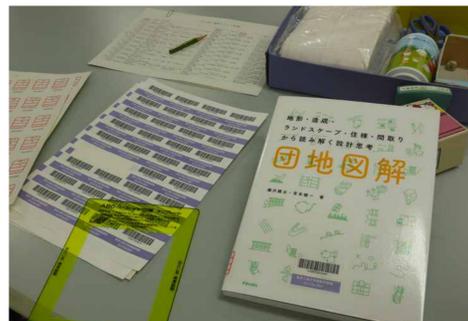
雑誌配架：外国雑誌センター館である東工大には毎日のように雑誌が届きます。それを配架する仕事です。
図書装備：新着図書を貸出しができるようにIDと請求記号を貼ることを“装備”と言います。
出納・除籍：書庫スペースを確保するため内容が古い図書などを抜き出します。
書架整理：電動集密書庫の掃除と雑誌のチェックをします。



書架整理中の様子



▲ 図書装備前と、作業後の様子



図書館や本を皆さんに知ってもらう仕事

見学案内：普段はキャンパス見学に来た高校生に、工大祭、ホームカミングデーでは、東工大に興味のある方や地域の方々に図書館ツアーを実施しています。図書館の説明だけでなく、案内する人に合わせて利用者としての視点も加え、臨機応変に対応します。

企画展示：テーマに沿って本を紹介します。紹介文とともにPOP作成もします。

図書館には常に新着図書が入ってくるため、図書装備は頻繁に行う仕事の一つです。ブッカーというシール状のフィルムを貼ったり、図書IDというバーコードと、請求記号のラベルなどを装備していきます。空気が入らないようにブッカーを貼ったり、自動貸し出し機で読み取るためにバーコードの位置に気をつけたりと、丁寧さと集中力が求められる仕事です。



企画展示



見学案内中の様子

【図書館サポーターあるある】

- どんな本がどこにあるか大体わかる。
- 請求記号を見るとその図書の分野が分かる。
- 自分の専攻に関係あるところを書架整理していると、ついついタイトルを目で追ってしまう。
- 返本中、思いがけず読みたい本に出会うと、請求記号をそっとメモする。

【これから取り組んでいきたいこと】

図書館には勉強、研究にとっても役に立つ環境、サービスがたくさんあります。しかし図書館を活用できている人はまだまだ少ないように思います。もっと活用してもらい、図書館が新たな発見・発想の場となれば、学生の活躍する機会を提供することにつながるのではないのでしょうか。

図書館のことをよく知っている私たちサポーターが主体となり、図書館の活
などなど… 用法の発信等、利用促進に積極的に取り組んでいければよいと思います。